

今週の言葉



<仕事とは?>

この大学へ来て、キャリア担当委員をして5年となります。今までに、学生の就活をお手伝いしながら、学生たちの中には「仕事」と「アルバイト」を一緒に考えている人が結構たくさんいる事に気が付きました。

「仕事」と「アルバイト」とは根本的に違います。

「アルバイト」とは自分の時間を切り売りして、いくらかの対価を得る。それ以上でもそれ以下でもありません。もちろん、「アルバイト」でも、お客様や店の上司や先輩に挨拶したり、敬語を使ったりいくらかの社会性が身につきます。ずっと家にいるよりはましで、自分で稼ぐお金の有難さも解り一定の効用はあります。

ただ、学生の中には生活の中心がアルバイトで、その為に大学の授業を遅刻したり、欠席したりする本末転倒の生活を送っている人がいます。そして、ひどい場合は4年間で、単位が取得できずに卒業延期となってしまいます。わずかなお金の為に自分の人生に自分で障害物を作ってしまう。それはあまりにももったいない。

一方、仕事は病人でもない限り、ほぼ一生付き合っていく大切な人生のパートナーです。自分で自分の人生を心豊かで悔いなきものにする為に、自分が納得できる働き方を見つけて下さい。仕事を通じて自分自身の能力を高め、人と協力して成し遂げる喜びを共にする仲間を作る事。長い時間をかけて、一步步づつ着実に前に進んで行ける。それが、仕事をする醍醐味です。もちろん、苦しい事や辛いこともあります。でもそれ以上に、自分だけでは到底経験できない素晴らしい経験や喜びを味わうことができます。

どうか、恐れずに前向きになって自分に合う仕事を見つけて下さい。下を向いたり、後ろをむいたりさえしなければ、必ず貴方（貴女）に合う仕事はみつかります。

<L・サニー・ハンセンのライフキャリア概念>

●人生の4つの役割（4L）

- *これらの4つの役割が組み合わさり、自分の人生が“有意義な全体”となる。
- *仕事が自身の教育や余暇や愛する人を支えている。自分の個人的な満足ではなく、自分にも社会にも役立つ意義ある仕事をする事。



○労働（仕事）LAVOR

○愛（家庭と子育て）LOVE

○学習（教育）LEARN

○余暇（趣味・遊興・旅行）LEISURE



ネ・L・サニー・ハンセン・カフツベリソフ心子有、「1997年著書「総合人生設計」の中で、「ライフキャリア」概念を提唱

キャリアサポート委員会 部長 矢島正枝

「我が子の進路を考える学生・保護者就職懇談会」のお知らせ

前号でもお知らせいたしましたが、本学では、毎年後学期のスタート時に、「我が子の進路を考える学生・保護者就職懇談会」を開催しています。短期大学部は、すでに9/19に終了しました。その折に、出席の保護者から、就職活動が不安になったという声があったそうです。今年度の就職活動が、「見えない選考」が進むなど、手探りの就職活動でしたから、今の時期としては当然であろうと思います。いたずらに不安を煽るのが本旨ではないのですが、就職活動が「売り手市場」とはいえ、厳しい選考になっているのも事実です。今からしっかりと、覚悟を決め、この機会に、保護者と皆さんと、担当の先生方とじっくり自分の進路について、話し合っていたきたいと思っています。ご家庭の都合で保護者の皆さんが欠席される場合でも、学生は出席してください。自分の担当の先生方に、しっかりと自分の考えている進路を伝え、相談にのってもらいましょう。



○ 大学3回生 **10/ 3 (土)** 13:00～ 本学4号館103教室

キャリアサポート室

